



夢に向かってまっすぐに



平成29年12月22日 (No. 6)

まだ何も 書かれていない 予定表 これから書ける 何でも書ける (俵 万智)



▲保健室前「今年できたこと」

平成29年も残り数日となりました。学校も4月から数えて、本日で149日の授業日を終えました。冬休み間近になって、インフルエンザの流行により学級閉鎖措置を行ったことで、保護者の皆様にもご負担をおかけしたことと思います。急な対応にもかかわらずご理解・ご協力をいただきましたこと、本当にありがとうございました。子供たちや保護者の皆様にとって、平成29年はどんな一年になったでしょうか。

今、保健室前には「今年がんばったことを

書こう」と題したツリーが掲示されています。養護教諭の二人が考えてくれました。中には「クロールで50m泳げるようになった。」「たくさん本を読むことができた。」「跳び箱が上手になった。」「二重跳びができるようになった。」「友達がたくさんできた。」「一人でご飯が作れるようになった。」など、子供たちが自分を振り返った様々な姿が、子供らしく素直に表現されています。読んでいるこちらが温かい気持ちになりました。

もうすぐ迎える平成30年は、どのような一年になるでしょうか。子供たちにも保護者の皆様にも、よかったこと、残念に思ったこと、様々な出来事があったことと思います。新たな気持ちで取り組むには節目の時期となります。未来の予定はこれからどんなふうにも書けますし、思った通りに叶えられていくという言葉もあります。子供たちにも、数年後の自分の姿を思い描かせ、今できることに一生懸命取り組むよう話したいと思います。

さて、明日から冬休みに入ります。年末年始にあたり、なかなかゆっくり休むのも難しいというのが本音かもしれません。保護者の皆様も体調に留意され、よい新年をお迎えください。冬休み明けも、本校の教育活動に対するご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

今年の漢字は・・・「北」

先日、今年の漢字が発表されました。すでに報道されておりますとおり「北」という字が選ばれたとのこと。ご存じの方も多いかと思いますが、北という

字は、「人と人が背中合わせになっている形」からできているそうです。お互いに背を向けて離れていくイメージから、何となく不安な気持ちを抱いてしまうのは、私だけでしょうか。世相を反映して選ばれていることから、同じように感じている方もいらっしゃると思います。

現在、皆様からいただいた「学校評価保護者アンケート」を集約しているところです。お忙しい中にもかかわらずご協力いただきまして、本当にありがとうございます。私たち教職員の仕事は、子供たちや保護者の皆様と向き合うことが第一です。どうしたら子供たちの力を伸ばせるか、保護者の皆様と一緒に考え、同じ方向を向いて手立てを取っていかなければ、目標を達成することができない仕事でもあります。勇気づけられるご意見も、厳しいご指摘も、皆様の期待の表れと受け止め、次年度の学校経営を考えて参ります。

保護者の皆様も、子供たちとしっかりと向き合う教職員の姿をご覧いただきまして、お子さんを真ん中に、三人四脚で歩んで行けるようお力添えいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。(集約結果は、2月の授業参観日にお示しする予定です。ご了承ください。)

プレゼントやお小遣いはどこに…

年末年始、子供たちが楽しみにしている行事も多いことと思います。本屋さんで「子どもを確実に不幸にする方法」というタイトルの本が目に入り、思わずどきどきとして手に取りました。その本には「欲しいものを、欲しいときに、欲しいだけ与えたら、子どもは間違いなく不幸になります。」と書いてありました。

私の実家は、自営業でした。父が、勤めていた会社から独立して経営が軌道に乗るまで（ちょうど私の小学校時代頃）は、子供ながらに生活が厳しいことを感じながら、これが欲しいということも言い出せずにいたのを思い出します。また、仕事が忙しくなると、現場に連れて行かれたこともありましたが（笑）。でも今となっては、そのおかげで「生きる力」や「我慢する力」「受け入れる力」が身についたのではないだろうか、とも思えるのです。

年末年始、大人としては、プレゼントやお小遣いを与える機会が多くなり、頭や心を悩ます場面もあることと思います。子供たちの心が豊かになるようなプレゼントにしたいものです。



▲5年生学習センターでの学び



▲3年生 外国語研修会の授業

(お詫び)

学級閉鎖措置を行っている学級には、年明けの配付とさせていただきます。申し訳ありません。HPにはアップいたしますので、ご了承ください。ご承知いただければ幸いです。